

<p>2 現行授業の目標と教育効果及びそれに対する自己評価</p> <p>(記述式：900字以内)</p>	<p>保育科教育プログラムの中で、主に音楽教育関連科目を担当している。授業の目標として特記すべき点として幼稚園教諭・保育士に求められる表現力の育成と演技者（ピエロ）としての教師論がある。こどもの感性を伸ばし、豊かな創造性を育成するためには、まず、教師・保育士自らが豊かな発想とバイタリティーをもっていなければならない。現場での実践内容を網羅し、表現活動や感受性の授受に関する様々な方法論を紹介しながら、こどものやる気を誘発できる教師を育成したいと考えている。</p> <p>また、幼児音楽教育コース学生には、リトミック指導者資格であるエレメンタリーの受験資格取得に向け、専門科目の理解を浸透させる努力と指導研究を行わなければならない。</p> <p>上記の視点をさらに発展した「総合芸術」講座では、ミュージカル公演を実施している。制作・事務局と大きく二分され組織において、学生たちは責任感・協調性・忍耐力・企画力など、多くを学んでいる。机上論ではない実践教育の中で、自らの体験によって感動することの大切さを理解することは、教師にとって不可欠な要素であるとの考え方に立脚し、「感動こそ教育の原点である」を命題として、授業時間を大幅に越えた形で展開している。</p> <p>活動素材としての脚本・音楽を自らが作成し、可能な限りの時間を教育指導に費やしており、受講学生の成長も顕著なものがある。</p>												
<p>3 学生による授業評価も踏まえ、教育改善への取り組み</p> <p>(記述式：900字以内)</p>	<p>学生による授業評価が今年度初めてレーダー式評価方式となり、客観的な分析が可能になった。授業への評価は概ね良好で、授業改善に対する特段の要望や意見はなかった。また、個々の達成度も高く、科目の到達目標は達成しているため全員が単位を取得した。効果的な授業改善策として、視聴覚施設の利用頻度を高めることも必要ではないかとの認識を持っているが、リズム室にはパワーポイントを使用できる環境が整っていない。授業者自身が幼稚園などの現場で指導している実践内容を視覚から理解することは大切で、授業で利用しているリズム室にパワーポイントなどを使用できる視聴覚機材が導入されることが望ましいと考えている。</p>												
<p>4 教科書、教材の作成状況</p> <p>(記述式：300字以内)</p>	<p>総合芸術（ミュージカル）講座の展開において、不可欠な教材・素材である脚本・音楽については、授業者である私が自ら制作したものを使っている。台本は約30,000～40,000字程度であり、音楽は約20曲程度のオーケストラ作品を準備提供している。</p> <p>本学の台本が小学校の総合教科書の時間に使用できるように改定されたものが、北海道全域に配布されており、学生は幼児・児童劇への応用を含めて学習が可能になった。</p> <p>音楽Ⅰでは、教育実践に使用している授業者の資料を用い、現場ニーズに即応した内容を年次展開している。ピアノ演奏技能習得のためのテキストは、本学学生の能力に適したものを編纂、平成26年度よりテキストとして用いている。音楽理論に関しては「音楽の基礎」土門裕之ほか共著を用いている。幼児音楽教育コース科目は、毎時、課題を提示し、学生個々の専門性を高めている。</p>												
<p>5 学生の指導（課外活動・厚生補導等）</p> <p>(主要10件以内)</p>	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>軽音楽部顧問</td> <td>1984年～現在</td> </tr> <tr> <td>ミュージカル活動総監督（33年間）</td> <td>保育学科科目「総合芸術」を全学に広げた公演活動指導</td> </tr> </tbody> </table>	軽音楽部顧問	1984年～現在	ミュージカル活動総監督（33年間）	保育学科科目「総合芸術」を全学に広げた公演活動指導								
軽音楽部顧問	1984年～現在												
ミュージカル活動総監督（33年間）	保育学科科目「総合芸術」を全学に広げた公演活動指導												
<p>6 その他</p> <p>(主要5件以内)</p>	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>姉妹校での客員講師 1999年8月～2000年1月（6ヶ月間）</td> <td>カナダ ブリティッシュコロロンビア州立 フレーザー・バレー大学幼児教育学科にて音楽教育を担当</td> </tr> <tr> <td>2004年度～2013年度 保育セミナー</td> <td>講師・基調講演等を担当</td> </tr> <tr> <td>2009年度～2012年度 免許更新講習</td> <td>講師（北海道私立幼稚園協会からの委嘱）</td> </tr> <tr> <td>2010年6月 総長表彰を授与される</td> <td>（長年にわたるミュージカル指導に対する功績）</td> </tr> <tr> <td>1983年から幼稚園・保育園研修等 多数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2007年より旭川フィルハーモニー管弦楽団の指導・指揮（常任指揮者）</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	姉妹校での客員講師 1999年8月～2000年1月（6ヶ月間）	カナダ ブリティッシュコロロンビア州立 フレーザー・バレー大学幼児教育学科にて音楽教育を担当	2004年度～2013年度 保育セミナー	講師・基調講演等を担当	2009年度～2012年度 免許更新講習	講師（北海道私立幼稚園協会からの委嘱）	2010年6月 総長表彰を授与される	（長年にわたるミュージカル指導に対する功績）	1983年から幼稚園・保育園研修等 多数		2007年より旭川フィルハーモニー管弦楽団の指導・指揮（常任指揮者）	
姉妹校での客員講師 1999年8月～2000年1月（6ヶ月間）	カナダ ブリティッシュコロロンビア州立 フレーザー・バレー大学幼児教育学科にて音楽教育を担当												
2004年度～2013年度 保育セミナー	講師・基調講演等を担当												
2009年度～2012年度 免許更新講習	講師（北海道私立幼稚園協会からの委嘱）												
2010年6月 総長表彰を授与される	（長年にわたるミュージカル指導に対する功績）												
1983年から幼稚園・保育園研修等 多数													
2007年より旭川フィルハーモニー管弦楽団の指導・指揮（常任指揮者）													
研 究 業 績													
<p>1 研究分野・活動</p> <p>(記述式：350字以内)</p>	<p>一つは、総合芸術（ミュージカル）実践活動に代表される、舞台制作活動を通じて、人間性を育み、総合的な人間力を高めていくプロセスとその効果についての研究を中心に、地域社会と連携した文化活動の啓蒙と地域における文化活動の発展的役割についての研究を進めている。</p> <p>もう一つは、公的幼児教育機関における音楽表現活動のあり方について研究しており、具体的には、器楽合奏や進退表現活動などの導入とその発展的応用方法論について指導実践を通して研究している。また、ダルクローズ音楽教育法（リトミック）のライセンス所持者として、幼児音楽コース学生のエレメンタリー資格取得に向けた専門的指導方法に対する研究を行っている。</p>												
<p>2 研究課題 (今後の展開・可能性を含む)</p> <p>(記述式：350字以内)</p>	<p>本学で実践している総合芸術活動（ミュージカル）の33年に及ぶ歴史を踏まえ、教育活動としての側面に加え、この活動が地域社会に及ぼした影響を社会に分析検討し、地域社会と連携した大学教育活動のありかたを模索することが求められる新たな研究テーマである。加えて、幼稚園などでの音楽教育実践活動では、表現活動が発達過程にどのような影響を及ぼし、かつ効果が期待できるのかについて、心理学的側面からのアプローチを含めた保育学科教員との共同研究へと発展させていく予定である。</p>												
<p>3 研究助成等 (主要5件程度)</p>	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>(1) 文部科学省科学研究費</td> </tr> <tr> <td>(2) 学内</td> </tr> <tr> <td>幼稚園における器楽指導に関する一考察「拓大論集189号」個人研究助成 B 1991年</td> </tr> <tr> <td>(3) 学外</td> </tr> <tr> <td>札幌市海外芸術文化研究助成 1980年</td> </tr> </tbody> </table>	(1) 文部科学省科学研究費	(2) 学内	幼稚園における器楽指導に関する一考察「拓大論集189号」個人研究助成 B 1991年	(3) 学外	札幌市海外芸術文化研究助成 1980年							
(1) 文部科学省科学研究費													
(2) 学内													
幼稚園における器楽指導に関する一考察「拓大論集189号」個人研究助成 B 1991年													
(3) 学外													
札幌市海外芸術文化研究助成 1980年													
<p>4 資格・特許等 (主要3件以内)</p>	<p>ダルクローズ音楽教育法国際指導者ライセンス取得（1983年6月）N.Y Dalcroze school of music</p>												

著書、学術論文、作品等の名称 (主要 15 件以内)	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行又は発表 雑誌等又は発表 学会等の名称	要 約
幼稚園教諭・小学校教諭・保育士養成のための「PIANO TEXT」-レッスン 24 とその応用	共	1994 年 4 月	ドレミ楽譜出版社	幼稚園教諭等を目指す養成校学生を対象にしたピアノテキスト作成にあたり、教材曲を作曲した。
表現のためのやさしいピアノ即興演奏—子どもの豊かな表現活動をひきだすために	共	1998 年 12 月	ドレミ楽譜出版社	こどもの豊かな感性をひきだすリトミック指導等において用いられる即興演奏を可能にするための教材として、その簡易演奏方法などを解説するとともに、範例曲を作曲した。
幼児教育ハンドブック	共	2001 年 6 月	音楽の友社	幼児教育において必要な用語等を網羅した辞典であり、用語の解説などを分担担当した。
小学校教諭・幼稚園教諭・保育士をめざす「音楽の基礎」	共	2008 年 4 月	圭文社	楽譜を読み取る力（読譜力）と再現する力（表現力）の基礎となる「読譜」という部分にスポットをあて、基礎をよりわかりやすく解説した音楽理論書。
初級ピアノ速習ステップス	共	2013 年 3 月	音楽の友社	保育者にとって必要なピアノ演奏技能習得のための速習教材。
うたのファンタジー（ピアノと歌の楽譜集）	共	2014 年 3 月	圭文社	「コードって何？」という疑問を図解で分かりやすく解説し、曲集部分では歌い継がれる名曲を 104 曲収録している。
惑星エピオスを目指して（小学生向けミュージカル脚本）	単	2002 年 10 月	全日本音楽教育研究会	拓大ミュージカル第 14 回公演「DEPARTURE」を小中学校生徒が上演できる作品として再構成し、出版したものの。
幼稚園における器楽指導に関する一考察	単	1991 年 2 月	拓大論集 189 号	幼稚園における器楽指導をより負担と無理のないプロセスで実施できるよう、その論理と具体的な指導方法を明確に示したものの。
拓殖大学北海道短期大学創作ミュージカルの実践報告	単	1992 年 3 月	拓大論集 196 号	拓殖大学北海道短期大学で実践しているミュージカル活動の 8 年間を総括し、現状と今後の展望について述べたもの。
A 短期大学における創作ミュージカルの実践研究	単	1997 年 3 月	日本音楽教育学会北海道地区例会（北海道教育大学）	拓殖大学北海道短期大学を事例に、創作ミュージカル活動での指導においてピアジェ理論を参考に、学生個々のやる気や達成感を得るための試行を分析したものの。
保育士・幼稚園教諭養成校における感動体験プログラムが培う「人間力」について	単	2003 年 10 月	全日本音楽教育研究会北海道大会（大学部会）	拓殖大学北海道短期大学ミュージカル活動において培われる様々な能力を「人間力」という定義において分析し、感動体験がいかに人間の根幹的・総合的な能力を導き出しているかについて述べたもの。
保育士養成校における教育活動としてのミュージカル・オペレッタ活動の一考察～2 校における教師の関与量比較から～	共	2004 年 6 月	日本音楽表現学会第二回大会発表論文集（北海道教育大学）	教育活動として展開されるミュージカルやオペレッタなどの実践において、学校間によってはその内容も指導方法も大きく異なっている。ここでは、教師の関与量を 2 校間で比較することで、学生の自主性や達成感などにどのような差異が生まれるかを分析したものの。
ミュージカル活動における指導体制改革とその効果—拓殖大学北海道短期大学の事例から—	共	2005 年 7 月	日本音楽表現学会第三回大会発表論文集（静岡大学）	拓殖大学北海道短期大学ミュージカル活動の事例から、公演クオリティを維持しながらも、二年生の再参加率を向上させ、2 年生から 1 年生への伝承を伝統的に可能にする指導改革について指導にあたる学科教員それぞれの視点からその解決策を探り、今後の展望を述べたもの。

「創作ミュージカルの実践」―課外活動から授業化に至るまでの変遷と改革― (委嘱稿)	共	2006年3月	音楽教育実践ジャーナル Vol.3. 日本音楽教育学会	23年の歴史を持つ拓殖大学北海道短期大学ミュージカルは課外活動から始まり、授業化され現在に至っている。その変遷と指導改革等について詳細な検証を行い、今後の活動指針を明らかにしたもの。
ミュージカル活動における指導体制改革とその効果(2006)―拓殖大学北海道短期大学の事例から―	共	2006年6月	日本音楽表現学会第四回大会発表論文集(岡山大学)	2006年度、専任教員のうち5名体制で指導にあたった拓殖大学北海道短期大学ミュージカルにおける指導体制改革とその効果について分析したもの。
STAND BY ME (ミュージカル) 原作・脚本・音楽	単	1995年2月	北海道深川市深川市民会館(2回公演)	俳優を目指して田舎から都会に出てきた青年。挫折しながらも必死に夢を目指していたが、田舎に残してきた恋人が尋ねてきて、夢を追って生きていたはずの自分が都会に流され変わり果てていることを知らされる。
SPOT LIGHT「魔女の誘惑」 (ミュージカル) 原作・脚本・音楽	単	1997年2月	北海道深川市深川市民会館	封印されていた魔女たちが力を取り戻し、復活のためにいけにえを必要としていた。魔女の策略で、数年分の命と引き換えに、栄光の道を約束された少女がたどった道、その結末は。
DEPARTURE (ミュージカル) 原作・脚本・音楽	単	1998年2月	北海道深川市深川市民会館(2回公演)	品評会に展示されるため宇宙を旅していたアンドロイドたち。宇宙船の故障で見知らぬ星に不時着してしまった。星の住人たちと知り合う中でアンドロイドたちは自分の生きる理由に気づく。そして宇宙船の修理が完了して旅立ちを迎えたとき、すでに故障期間が百年以上も経過して旧型アンドロイドになっていることに気づく。ガラクタと化したアンドロイドたちが選択した道は。
WING「青春の翼」 (ミュージカル) 原作・脚本・音楽	単	1999年2月	北海道深川市深川市民会館(2回公演)	父親が怪我をしたため授業にも出られず農業に勤しむ友人を助けるために集まった仲間たち。北海道農業の厳しさと離農問題に直面し、青春をかけた思い出作りに臨む。
THE COLORS OF MY LIFE (ミュージカル) 原作・脚本・音楽	単	2000年2月	北海道深川市深川市民会館(2回公演)	両親を亡くした兄妹が営む花屋。経営は逼迫し多額の借金を抱えていた。そんな時、兄の恋人に縁談がもちあがり、結婚すれば海外へ赴任することになるという。家業を考え自分の気持ちを伝えられない兄と、兄の幸せになるために奔走する妹と友人たちのラブコメディ。
PRIME「妖精のいたずら」 (ミュージカル) 原作・脚本・音楽	単	2001年2月	北海道深川市深川市民会館(2回公演)	40歳を迎えた高校時代の同級生がなぜか突然高校時代にタイムスリップしてしまう。混乱の中、事故で亡くなった夫と再会するもの、病死する父親にその危険を伝えようとする者、様々な人生を背負った中年が、奇跡の時間を生きる中で選ぶ行動とその結末をコメディータッチに描いたもの。
ベンジャミンのパスポート (ミュージカル) 原作・脚本・音楽	単	2003年2月	北海道鷹栖町メロディーホール(2回公演)	父親の転勤で何度も転校を繰り返した少女【愛】は友人との別れを繰り返したくないと心を閉ざしていた。引越してきた古い家に住む座敷わらしが登場し【愛】の心を開くため霊界へ連れて行き、若くして亡くなった少女【さゆり】と合わせる。病気で亡くなったさゆりは母親に感謝の心を伝えられなかったと後悔していた。座敷わらしは、少女たちの心を互いにを入れ替え、心を閉ざしていた愛が亡くなったさゆりの母親に会いに行くことになった。そこで愛の心に芽生えたものは。

泣かないで (ミュージカル) 台本・音楽	単	2005年2月	北海道深川市民文化交流ホール(2回公演)	遠藤周作の【私が・棄てた・おんな】を原作に、ハンセン氏病の疑いをかけられ人生を翻弄された少女が、ハンセン氏病の患者たちとたくましく明るく生き、そして命を終えて行くはかなく悲しい人生をミュージカルタッチで感動的に描いたもの。
メッセージ (ミュージカル) 脚本・音楽リメイク	単	2006年2月	北海道深川市民文化交流ホール(2回公演)	閻魔大王と天女が地獄か天国かの行き先を判定していたある日、交通事故で命を失った5人の若者。主人公【孝夫】の恋人だった【未来】が後を追って自殺することを知った五人は霊媒師の力をかりて未来を救おうと奔走する。未来を救うために孝夫がとった行動、未来の運命を通して、人間にとって大切なメッセージを伝えた作品。(リメイク版)
いつまでも忘れないから (ミュージカル) 台本・音楽) 拓殖大学北海道短期大学創立40周年記念作品 (原作・脚本・音楽)	単	2007年2月	2月22日 札幌市教育文化会館大ホール 2月24日/25日 北海道深川市民文化交流ホール (3回公演)	いじめを受けて自殺を図った主人公の沙織は霊界の入り口で15年前に亡くなった沙織の弟ユウに再会する。不思議な出会いと姉を思う弟の愛情を通して、愛と生きる事の大切さを見つけた作品。
旭川フィルハーモニー管弦楽団演奏会 「旭川フィルカンタービレ」指揮	単	2007年6月	北海道旭川市民文化会館大ホール	「組曲惑星より木星」ホルスト 「交響曲第4番より1楽章」ブラームス 「オーボエ協奏曲第1番」モーツァルト 「交響曲第7番1楽章」ベートーヴェン 「ラブソディー・イン・ブルー」ガーシュイン 他。
望郷の鐘コンサート 編曲/ピアノ伴奏 (主催 旭川音楽振興会)	共	2007年8月	北海道旭川市クリスタルホール音楽堂	思い出のラジオ歌謡を中心にヴァイオリン/ソプラノ/バリトンのソロ、合唱等で綴った演奏会。
捨てられた人形の詩 (ミュージカル) 脚本・音楽リメイク	単	2008年2月	2月23日/24日 北海道深川市民文化交流ホール	アンドロイドたちの葛藤を描いたDeparture を原作に、生きる事の大切さ、生き甲斐を見つけることの大切さなどを問いかけた作品。(リメイク版)
ミュージカル等の活動におけるピンマイク使用に関する一考察	単	2008年3月	日本音楽表現学会ベル・ジリオ大会(昭和音楽大学)	教育活動等で実践されるミュージカル等の舞台活動におけるキャストのピンマイク使用に関する問題点と効果についての研究。
旭川フィルハーモニー管弦楽団演奏会 「セレクション名曲コンサート」指揮	単	2008年6月	北海道旭川市民文化会館大ホール	「ダッタン人の踊り」ボロディン 「ヴォカリーズ」ラフマニノフ 「亡き王女のためのパヴァーヌ」ラヴェル 「ピアノ協奏曲第2番」ラフマニノフ 「オペラ座の怪人」ロイドウェバーほか
望郷の鐘コンサート 室内楽伴奏を含む全曲編曲/ピアノ伴奏 (主催 旭川音楽振興会)	単	2008年8月	北海道旭川市クリスタルホール音楽堂	歌声喫茶で歌われた歌謡を中心にソプラノソロ、合唱等を室内楽伴奏で綴った演奏会。
旭川フィルハーモニー管弦楽団演奏会 「セレクション名曲コンサート」指揮	単	2009年7月	北海道旭川市民文化会館大ホール	「シチリア島の夕べの祈り序曲」ヴェルディ 「弦楽セレナーデ」「管楽セレナーデ」ドヴォルジャーク 「エグモント序曲」ベートーヴェン 「ハイドンの主題による変奏曲」ブラームス 「6声のフーガ」バッハ(管楽器編成 土門裕之編曲) 「3音変奏によるオーケストラのための叙情小詩」土門裕之
3音変奏によるオーケストラのための叙情小詩 (作曲)	単	2009年7月	北海道旭川市民文化会館大ホール	旭川フィルハーモニー管弦楽団演奏会委嘱作品。
いつまでも忘れないから (ミュージカル) 台本・音楽) 第25回記念作品 脚本・音楽 (リメイク)	単	2009年2月	2月21日/22日 北海道深川市民文化交流ホール	いじめを受けて自殺を図った主人公の沙織は霊界の入り口で15年前に亡くなった沙織の弟ユウに再会する。不思議な出会いと姉を思う弟の愛情を通して、愛と生きる事の大切さを見つけた作品 (リメイク版)。
時の旅人～僕が待ち続けた時間～ 原作・脚本・音楽	単	2010年2月	2月20日/21日(北海道深川市民文化交流ホール)24日(北海道旭川市民文化会館大ホール)	妻を亡くした男がタイムマシンの完成させ、妻の命を救うために50年という過去に旅立ち、再び妻と出会うまでの50年間を生きる物語。

旭川フィルハーモニー管弦楽団第 33 回定期演奏会指揮	単	2010 年 5 月	北海道旭川市民文化会館大ホール	「ラフマニノフ ピアノ協奏曲第 2 番」「ベートーヴェン 交響曲第 3 番」「バーンスタイン キャンディード序曲」「土門裕之 オーケストラのための叙情小詩時の旅人より」
オーケストラのための叙情小詩「時の旅人より」(作曲)	単	2010 年 5 月	北海道旭川市民文化会館大ホール	旭川フィルハーモニー管弦楽団演奏会のための委嘱作品。
第 15 回記念「望郷の鐘コンサート」合唱曲を含む編曲／室内オーケストラ指揮 (主催 旭川音楽振興会)	単	2010 年 9 月	北海道旭川市クリスタルホール音楽堂	プロのソリスト、AMP 混声合唱団、AMP 室内オーケストラ等による日本・世界の叙情歌を中心とした演奏会。「ともしび」「モスクワ郊外の夕べ」「TONIGHT」「ここに幸あり」「希望」「夜明けの歌」他
メッセージ (ミュージカル) 脚本・音楽 (リメイク)	単	2011 年 2 月	北海道深川市民文化交流ホール	閻魔大王と天女が地獄か天国かの行き先を判定していたある日、交通事故で命を失った 5 人の若者。主人公【孝夫】の恋人だった【未来】が後を追って自殺することを知った五人は霊媒師の力をかりて未来を救おうと奔走する。未来を救うために孝夫がとった行動、未来の運命を通して、人間にとって大切なメッセージを伝えた作品(リメイク版)。
旭川フィルセレクション 名曲コンサート Vol. 3 ～スクリーンミュージック～ 旭川フィルハーモニー管弦楽団 指揮	単	2011 年 5 月	旭川市民文化会館大ホール	ET のテーマ (編曲) パイレーツ・オブ・カリビアン シンドラーのリスト ウェストサイド物語、 アメリカンシンフォニー スターウォーズ オーケストラストーリーズ「となりのトトロ」 ハチャトゥリアン 仮面舞踏会
ふたつの空 (ミュージカル作品) 原作・脚本・音楽	単	2012 年 2 月	北海道深川市民文化交流ホール	人間界に不信感を抱いている森の民。そんな中、3 匹の昆虫が魔法の力により姿を変えて人間界にやってくる。そこで出会う様々な人間模様。昆虫たちは、さびれた商店街を救おうと動き出す。豊かさや価値観を再考するファンタジー作品。
旭川フィルハーモニー管弦楽団第 35 回定期演奏会指揮	単	2012 年 5 月	旭川市民文化会館大ホール	リスト：交響詩「前奏曲」 フォーレ：組曲「ペリアスとメリザンド」 チャイコフスキー：交響曲第 6 番「悲愴」
第 17 回 望郷の鐘コンサート 合唱曲を含む編曲／室内オーケストラ指揮 (主催 旭川音楽振興会)	単	2012 年 9 月	北海道旭川市クリスタルホール音楽堂	プロのソリスト、AMP 混声合唱団、AMP 室内オーケストラ等による世界の映画音楽を中心とした演奏会。「ひまわり」「パピオンのテーマ」「The way you were」「おくりびと」他
いつまでも忘れないから (ミュージカル 台本・音楽) 第 25 回記念作品 脚本・音楽 (リメイク)	単	2013 年 2 月	2 月 16 日/17 日 北海道深川市民文化交流ホール	いじめを受けて自殺を図った主人公の沙織は霊界の入り口で 15 年前に亡くなった沙織の弟ユウに再会する。不思議な出会いと姉を思う弟の愛情を通して、愛と生きる事の大切さを見つけた作品 (地元深川色を取り入れたリメイク版)。
旭川フィルハーモニー管弦楽団演奏会 ファミリーコンサート指揮	単	2013 年 5 月	旭川市民文化会館大ホール	ラヴェル：マ・メル・ロア (バレエ付) プロコフィエフ：ピーターと狼 ブリテン：青少年のための管弦楽入門
第 19 回望郷の鐘コンサート 編曲・指揮	単	2013 年 9 月	旭川市クリスタルホール音楽堂	プロのソプラノ歌手 2 名と合唱・オーケストラによる日本の歌 17 曲の編曲・指揮
第 30 回拓大ミュージカル「ホテルの奇跡」脚本・音楽	単	2014 年 2 月	北海道深川市民文化交流ホール	人間界に不信感を抱いている森の民。そんな中、3 匹の昆虫が魔法の力により姿を変えて人間界にやってくる。そこで出会う様々な人間模様。昆虫たちは、さびれた商店街を救おうと動き出す。「ふたつの空」を原作に、新しいメッセージを付加した、豊かさや価値観を再考するファンタジー作品。
第 38 回旭川フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会 指揮	単	2014 年 5 月	旭川市民文化会館大ホール	スッペ：軽騎兵序曲 チャイコフスキー：ピアノ協奏曲 ブラームス：交響曲第 2 番

第31回拓大ミュージカル「旅する小舟」 原作・脚本・音楽	単	2015年2月	北海道深川市市民文化交流ホールみらい	田舎育ちの若者が都会で就職し、将来を約束された環境で働き始めたが、利益追求の職場方針に疑問を持ち始めた。そんな時、故郷の深川に帰郷することになり、そこで不思議な体験をすることになる。旅する小舟で時をさかのぼった若者の人生はどのように変化していくか？若者の生き方を再考するファンタジー作品。
旭川フィルハーモニー管弦楽団	単	2015年5月10日	旭川市民文化会館大ホール	旭川フィルが誘う「フィンランドの風と音」指揮：土門裕之(常任指揮者) シベリウス/トゥオネラの白鳥 ヴァイオリン協奏曲二短調(独奏：佐藤まどか) 交響曲第5番 交響詩「フィンランディア」
時の旅人～僕が待ち続けた時間～ 原作・脚本・音楽(リメイク改訂) 総監督	単	2016年2月	2月20日/21日(北海道深川市民交流ホール)	妻を亡くした男がタイムマシンを完成させ、妻の命を救うために50年という過去に旅立ち、再び妻と出会うまでの50年間を生きる物語。(リメイク版)
旭川フィルハーモニー管弦楽団	単	2016年5月	旭川市民文化会館大ホール	指揮：土門裕之(常任指揮者) ハイドン 交響曲104番「ロンドン」 リムスキー・コルサコフ「シェーラザード」
第69代横綱 白鵬関研究	共	2016年9月	拓殖大学/拓殖大学北海道短期大学	第69代横綱白鵬関の強さを食・日本語・スポーツ・教育の各分野から総合的に考察したもの。拓殖大学・拓殖大学北海道短期大学との共同研究。土門は教育分野を分担している。
第33回拓大ミュージカル「いつまでも忘れないから」 原作・脚本・音楽(リメイク改訂) 総監督	単	2017年2月	2月18日/19日(北海道深川市民交流ホール)	いじめを受けて自殺を図った主人公の沙織は霊界の入り口で15年前に亡くなった沙織の弟ユウに再会する。不思議な出会いと姉を思う弟の愛情を通して、愛と生きる事の大切さをみつけた作品(地元深川色を取り入れたリメイク版)。

研究業績(過去3カ年分)

著作数	論文数	学会等発表数	その他(演奏活動等)	国際的活動の有無	社会的活動の有無
				有	有
2	1	2	7	有	有

学内運営業績

1 役職、各種委員会等 (主要10件程度)	保育科教授	2001年～
	就職委員会委員長	2001年4月～2003年3月まで
	総合委員会委員	2001年～
	入試広報委員会委員	21年間
	ネットワーク管理運営委員会委員長	2003年4月～2004年3月
	保育科 学科長	2003年4月～2013年3月
	入試広報委員長	2006年4月～2009年3月 2012年4月～2013年3月
	副学長	2011年4月～
	拓殖大学 評議員	2011年4月～
	北海道短期大学将来検討委員会委員	2011年10月～2013年2月
	自己点検・評価委員会委員長代行	2016年4月～
	北短創立50周年準備委員長	2014年4月～2016年11月
FD委員会委員長	2016年4月～	

学外活動業績

1 本学以外の機関(公的機関・民間団体等)を通じた活動 (主要10件程度)	恵庭市民吹奏楽団指揮者	1984年～1988年
	深川市国際交流協会理事	1991年～現在
	旭川音楽振興会常務理事	1997年～2012 理事 2012～現在 常務理事
	AMP オーケストラ編曲・指揮者	1995年～2014年 (旭川音楽堂クリスタルホールでの演奏会「望郷の鐘コンサート」編曲・指揮)
	旭川市民オペラ「かっぱ」音楽監督・指揮	1992年(オペラ「ヘンゼルとグレーテル」公演)
	旭川市民ミュージカル音楽監督	1996年(設立時の指導)
	旭川フィルハーモニー管弦楽団指揮者	2007年1月～(2009年度より常任指揮者に就任)
	免許更新講習講師	2009年度～2012年度(北海道私立幼稚園協会からの委嘱)
	音楽教育研修会等の講師(多数)	教育講演会(多数)
	音楽コンクール審査員(多数)	

2 学会・学術団体等の活動 (主要 10 件程度)	全国保育士養成協議会常任理事 北海道ブロック協議会会長 2010～2012
	全国大学音楽教育学会 会員 1996～
	日本音楽教育学会会員 1987～2008
	日本音楽表現学会 会員 2001～
	日本音楽表現学会 編集委員 2003～2004
	日本音楽表現学会理事 2009～2012
	日本ジャック・ダルクロワ協会会員 2013～
	日本音楽表現学会北海道大会実行委員長 2016年5月 拓殖大学北海道短期大学で開催